

筑波大学耳鼻咽喉科頭頸部外科 号外

2011年(平成23年)4月1日(金曜日)
筑波大学附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科
〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1

耳鼻咽喉科医募集!!



日本耳鼻咽喉科学会総会 宿題報告にて撮影

多くの感覚器・頭頸部を担当

上気道・発声機能、口腔咽頭・嚥下機能も担当する

耳鼻咽喉科は特殊感覚(聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚)の多くを担当する感覚器のエキスパートである。また、頭頸部領域の疾患(腫瘍・アレルギー・感染症など)も専門とする、多様に富んだ診療科である。(2面に関係記事)

絶対的な不足から将来性抜群

耳鼻咽喉科の最大の魅力は、扱う部位が多岐にわたるという点だ。同科では頭から上の脳、眼、歯を除いたすべてを、外科内科のボーダーを越えて扱うことになる。その守備範囲の広さは、医者歴30年になる原教授をもつてして、「一度もやったことがない手術がまたたくさんある」と言われるほど。耳鼻咽喉科というよりも、頭頸部外科と考えたほうが近いという。同科の田淵講師も、「25分が終わるものもあるれば、15時間かかるものもある」と、手術内容のバラエティの豊富さを語る。

同科では准教授、講師、レジデントらが1つのユニットを組むチーム医療で診療にあたっているが、患者への指示出し等を含め、なかでもシニアレジデントが中心になり動いてもらっているという。

また、前述したように手術に際してもなるべく早く術者としてレジデントに経験させるため、後期研修でかなり多くの症例数をこなすことができる。もちろん、若手が術者になるときは上級の医師が指導にあたる。本人のやる気次第で、腕を磨くチャンスの壁は一つもない。やりがい十分。将来の選択肢も豊富。お問い合わせは研修担当の和田までお気軽にどうぞ。

専門医合格率 100%



耳鼻咽喉科医募集

耳鼻咽喉科は特殊感覚(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚)のうち視覚以外を専ら守備範囲とする感覚器のエキスパートです。さらに、頭頸部癌も専門とし実に多様に富んでいます。人間が人間らしく生きる上で、もっとも基本的かつ重要な機能を扱い、subspecialtyの選択肢も豊富な耳鼻咽喉科を専攻してみませんか?

研修担当者: 和田 哲郎
E-mail: twada@md.tsukuba.ac.jp

一般病院では扁桃摘出手術など急性疾患に対する機動的な診療がメインになる。大学病院では、入院患者の8割ががん患者であり、複雑な疾患も多い。同科の後期研修では、4年プラス2年、トータル6年かけて大学病院と関連病院を行き来する。特殊な疾患とコンピュータをメインとする。専門医の資格取得のために必要な能力を養っていく。特徴的なのは、レジデントの年数によって経験できる手術や検査項目があらかじめ明示されており、また、何年目までの手術が術者や助手として経験できるのかもクリアな点だ。特に手術に関しては、レジデントに率先して行わせる方針で、チーフともなると複雑な症例をいくつもこなせるようになる。また、希望者には大学院などで研究に打ち込める期間も設けており、博士号が取得可能な体制を整備している。



鼻の内視鏡手術トレーニングシステム

「昔からレジデント制をとっているだけあり、他大学と比べてプログラムは非常にしっかりしています」と、同科の原教授は言う。このような体制のもと、一般的な合格率は20%と言われる専門医試験合格率も、同科では100%を誇る。脳外に続く難しさと誇られているが、同科の研修プログラムが専門医取得のためのカリキュラムに結果的にフィットしているということだ。

研修プログラム

- 1. 教室の教育方針**
10年程度をかけて耳鼻咽喉科領域全般にわたる臨床能力を身につける
耳鼻咽喉科専門医をとる(受験時期: 卒後7年目 現在48名合格 合格率100%)
その後各人が専門性を高めていく
一時期、基礎研究に従事し、学位取得を目指すとともに、物事を追求していく考え方を学ぶ
- 2. 後期研修の流れ**
3~4年目: 大学病院での臨床研修・関連病院での臨床研修(1回目)
5~8年目: 大学病院での臨床研修・関連病院での臨床研修(2回目)・研究に従事(1~2年間の研究生あるいは大学院進学)
- 3. 研修プログラムの特徴(院内)**
グループ診療
経験年数の異なる数人のチームをつくり、機動的に診療を進める
手術は経験年数及び技量に応じて適度な難易度の症例を担当する
耳鼻科診療マニュアル(当教室作成)に基づき基本的な手順や治療方針を学ぶ
- 4. 研修プログラムの特徴(院外)**
関連病院の医長は、すべて当教室の出身者
2~3人体制で一般的な耳鼻科疾患の診療・手術にあたる
年2回の日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会学術講演会で経験症例を報告する

2010年4月現在
当教室で研修した医師 56名

大学スタッフ: 9名
病院勤務: 22名
大学レジデント: 4名
研究従事: 2名
開業: 17名
育児休業: 2名

茨城県内の耳鼻科医数: 150名



耳鼻咽喉科講座での風景
教授からレジデントまでみなが自然と集まり、診療の検討や日々の出来事を語り合うアットホームなスペースとなっている

関連病院

院外研修受け入れ関連病院

- 水戸医療センター
- 県立中央病院
- 水戸赤十字病院
- 水戸協同病院
- 日製ひたちなか病院
- 筑波学園病院
- 筑波記念病院

筑波大学附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科